

夫は見事な妻の髪に合う髪飾りを、妻は夫の自慢の金時計のための鎖をクリスマスの贈り物に準備した。が!? ラストに驚く短編の名手オー・ヘンリー



読書週間 12月

12月2日(月)～9日(月)

朝読書3日～9日*8時25分～35分(10分)
朝の10分間、各人の好きな本を、みんなで静かに、ただ読む。早めに登校してくださいね。

冊子『先生方おすすめ本』配布
先生方の紹介される本も文も個性的で素敵です。本は図書館にあるのでどうぞ。

クイズ*「誰だかわかるかな？」
各クラスに配布、または配信された似顔絵リストの中で、『先生方おすすめ本』に載っていない先生をあてよう。わかった人は図書館に来て教えてください。
正解者にはサインカード(笑)をプレゼント♪

3年生の貸出は(原則)1月末まで。余裕ができた人はどしどし読書をして、次のステージの準備としよう♪



本のジャンル診断

ある司書が作成した、電子版チャート「あなたにオススメする本のジャンル診断」やってみませんか？

* Christmas present *

Achieve peace!

平和を実現する

71年前、奄美は日本に復帰しました。8年前制府の不公平などに苦勞しましたが、その前は戦中で苦勞していました。問題解決を武力に頼らないで行う方法を私たちはもっと研究しなければいけません。「平和」を考える本を、奄美コーナーの前に展示していますので、与らりとでも覗いてみてくださいと嬉しです。

戦 中

『奄美・喜界島の沖縄戦』

大倉忠夫

大高卒の弁護士・大倉が、出身地、喜界島での特攻基地、捕虜事件についてなど、コソコソ 30 年かけ集めた戦時下体験と膨大な資料から、当時の実像を浮かび上げさせた。「戦争の無意味さ」を残すために。

戦 後

『密航・命がけの進学』

アメリカ軍政下の奄美から
北緯 30 度の波頭を越えて』
芝慶輔

戦後、東大への復帰のため、島にない大学進学のため、密航しかなかった大高の先輩たちが証言する苦勞の数々。

『奄美雑話』

～地理学を目で群島を見る』
須山聡

奄美に関する地理的雑話集。(ST の講師でおなじみ須山先生の著作)奄美復帰 70 年の項では簡潔に 70 年の歴史を追い、更に今後の奄美への示唆深い指摘がされている。

そして今

『海の中から地球が見える』

武本匠弘

プロダイバー・環境活動家。尊敬するレイチエル・カーソンから教わった「見えないものをみる」をモットーに長年海や社会をみてきて実感する、変化を伝える。過去の戦争や戦争のための準備までもがさまざまな環境破壊をおこしてきた歴史も振り返り未来への提言をしている。

『戦争を回避する「新しい外交」を切り拓く』

猿田佐世

平和学から世界を視る。

新着図書

画像データは著作権を鑑みて小さくしています

あの時こうしなければ……本当に危ない闇バイトの話



昨今話題の「闇バイト」の手口にご用心。マンガで分かる闇の世界。

名探偵の有害性

桜庭一樹



平成に活躍した探偵……20年を経て突如炎上!! 火付け役 YouTuber の主張とは!?

雫

寺地はるな



45歳から中学時代へと、遡って語られるつながりと再生の物語。

深淵のテレパス

上條一輝



とある怪談を聞いたことから始まった怪現象。追い詰められた彼女が頼った先は-

いつか会ったあなたと、きっと出会う君に

石野晶



幾重にも仕掛けられた仕掛けが読み手を翻弄するファンタジー。

歴史

あなたの隣にある沖縄	澤宮優 著
漫画サピエンス全史 歴史の覇者編	ユヴァル・ノア・ハラリ 著
ナチズム前夜 <small>ワイマル共和国と政治的暴力</small>	原田昌博 著
プリューターク英雄伝	澤田謙 [著]

小説

12音のブックトーク	こまつあやこ
ポーチとノート	こまつあやこ
エレファントヘッド	白井智之
琴子は着物の夢を見る	ほしおさなえ
口に関するアンケート	背筋
蝶として死す 平家物語推理抄	羽生飛鳥
檜垣澤家の炎上	永嶋恵美
永劫館超連続殺人事件	南海遊
テトラド 統計外暗数犯罪 1	吉上亮
家族解散まで千キロメートル	浅倉秋成
臨床のスピカ	前川ほまれ
春のたましい 神祕いの記	黒木あるじ
死んだ山田と教室	金子玲介
夜更けより静かな場所	岩井圭也
バリ山行	松永K三蔵
代替伴侶	白石一文
富士山	平野啓一郎
さくらのまち	三秋縋 著
わたしと一緒にくらしましょう	尾八原ジュージ
サリエリはクラスメイトを二度殺す	額賀濤
ひまわり	新川帆立
架空犯	東野圭吾
乱反射	貫井徳郎
わたしたちが光の速さで進めないなら	キムチョヨブ

谷川俊太郎 紹介

谷川俊太郎の作品と翻訳本
詩集

「易しくも大胆な言語感覚で愛された、戦後現代詩を代表する詩人」(朝日新聞)と評される谷川さんが11月未逝去された。教科書に掲載される詩の他にも、数々の翻訳や校歌、「ハウルの動く城」など主題歌の作詞も手がけてきた。

これを機会に、「言葉」に注目して谷川作品に触れてみては?

- いまぼくに
- 手紙
- 生きる
- 20億光年の孤独
- あさ／朝 ゆう／夕
- もこもこもこ

翻訳本

- スヌーピー(ピーナッツエッセイ)
- かさをささないシランさん
- マザーグースのうた
- ペツエッティーン

～じぶんをみつけたぶぶんひんのはなし

